

個人投資家のみなさまへ

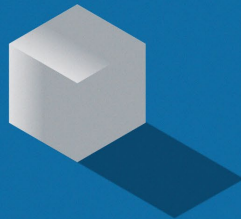
共英製鋼グループ会社説明会

共英製鋼株式会社
2026.8

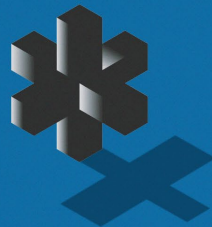
クリーンな
未来をつくる。



電気炉で
生まれ変わらせることで。



数々の使命を
終えた鉄を。



1

共英製鋼とは？

2

共英製鋼の強み

3

中期経営計画「NeXuS II 2026」

4

資本コストと株価を意識した経営の実現

A worker wearing a yellow hard hat with a headlamp, safety glasses, and a light-colored work jacket is focused on a task. He is pointing with his right hand towards a large, white industrial machine. The background is a blurred industrial setting with green and white structures.

① 共英製鋼とは？



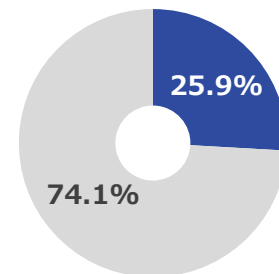
電気で鉄を
つくる会社！

「電気で鉄をつくる」とは？～鉄をつくる2つの方法

	高 炉・転 炉 法	電 炉 法
原 料	鉄鉱石、コークス	鉄スクラップ
製造工程	鉄鉱石をコークスで溶解・還元	鉄スクラップを電気炉で溶解
特 徴	・設備が大規模 ・操業を一時休止した際の負担大	・設備が小規模 ・操業を容易にオンオフでき、需要環境に対して柔軟に対応可能
製 品	自動車・精密機器向け	建築・土木向け(普通鋼)



日本の
電炉比率



(2025年度)

出典：鉄鋼連盟

鉄スクラップを主原料とする サステナブルな事業

地域で発生した
鉄スクラップを回収



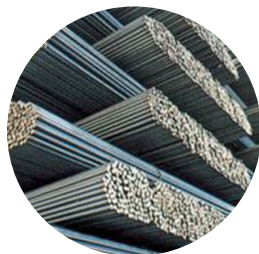
電気炉で熔融



地産地消の
ビジネス



生産拠点付近の
社会インフラへ



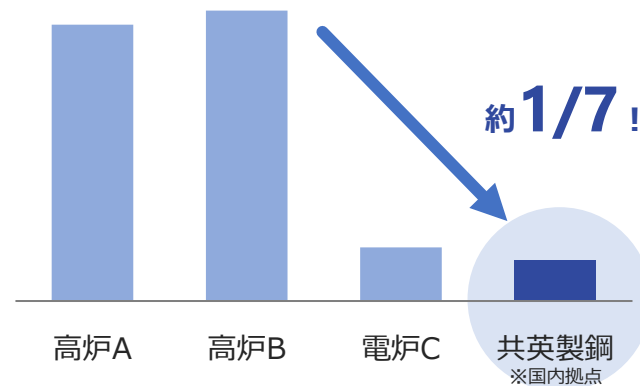
圧延して製品に

小さな環境負荷

CO₂排出量は高炉に比べ大幅に少ない

鉄の生産トン当たりCO₂排出量

(kg-CO₂/t)



※各社開示レポートに基づいて作成（2024年度）

社 名 : 共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)

設 立 : 1947年8月21日

本 社 所 在 地 : 大阪市北区堂島浜 1 - 4 - 16

資 本 金 : 185億16百万円

連 結 売 上 高 : 3,151億円 (2026年3月期)

連 結 従 業 員 数 : 4,068名 (2026年3月末)

信 用 格 付 : A- (日本格付研究所)



代表取締役会長
高島 秀一郎

代表取締役社長
坂本 尚吾

社会インフラを支える当社グループの製品群



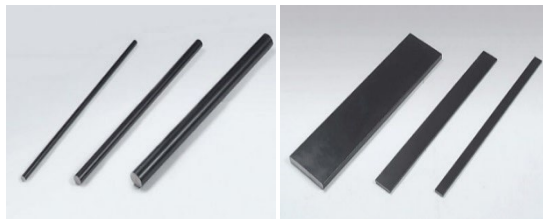
マンション・オフィスビルなど



Iバー



グレーチング（溝蓋）

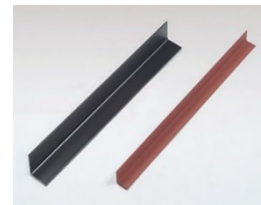


構造用棒鋼

平鋼



船舶など



等辺山形鋼



駅舎など

オフィスビル



グランフロント大阪

道路橋



東海北陸自動車道 鷺見橋（橋脚高さ日本一）

鉄道



ベトナムホーチミン都市鉄道（地下鉄）

グレーチング（溝蓋）



グレーチング（約70%が当社Iバー使用）

高速道路



米国コロラド州デンバー高速道路

発電所



風力発電所(カナダサスカチュワン州)

当社グループの製造拠点

日本・ベトナム・北米で鉄鋼事業を展開



※主に鉄筋を生産する拠点

当社グループの事業セグメント

国内鉄鋼事業

鉄鋼製品の製造・加工・販売



海外鉄鋼事業

ベトナム、北米での鉄鋼事業



環境リサイクル事業

電気炉による廃棄物溶融処理など



その他の事業

港湾事業、鋳物事業など



チー・バイ・インターナショナル・ポート社（港湾事業）

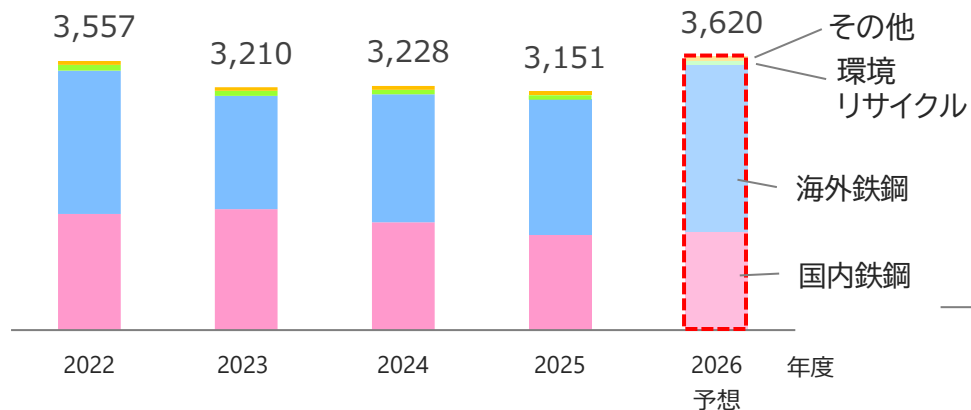


ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（鋳物事業）



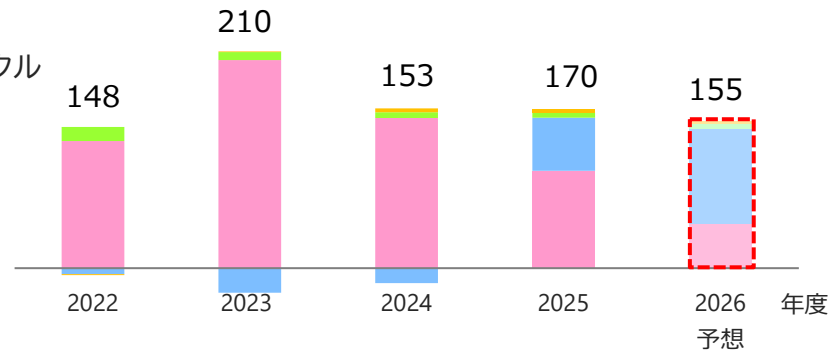
株式会社吉年（鋳物事業）

売上高

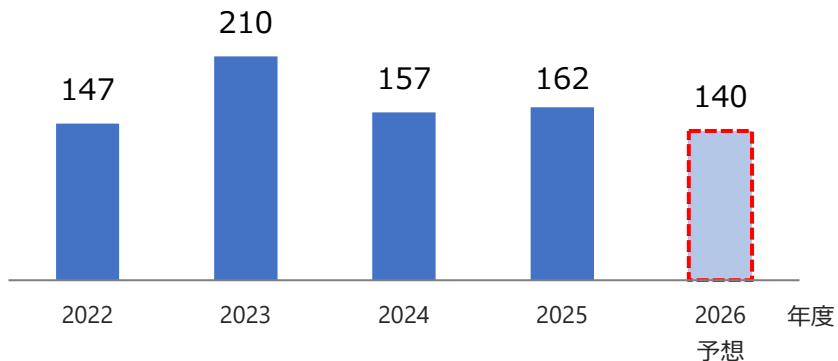


営業利益

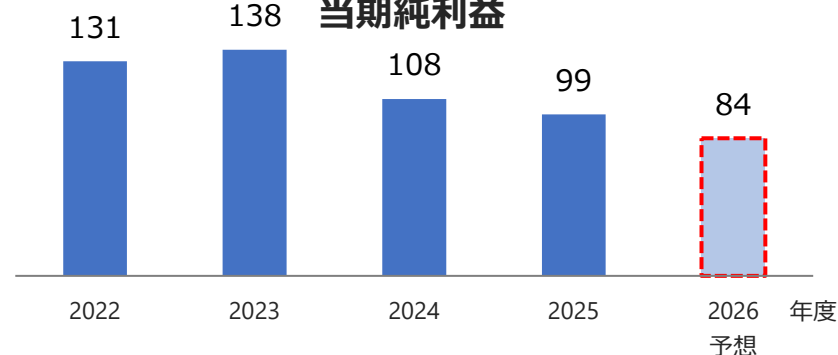
(単位:億円)



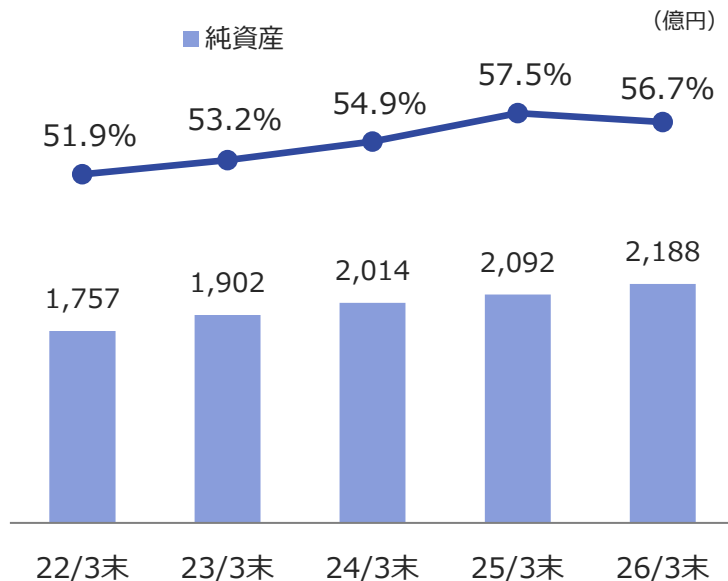
経常利益



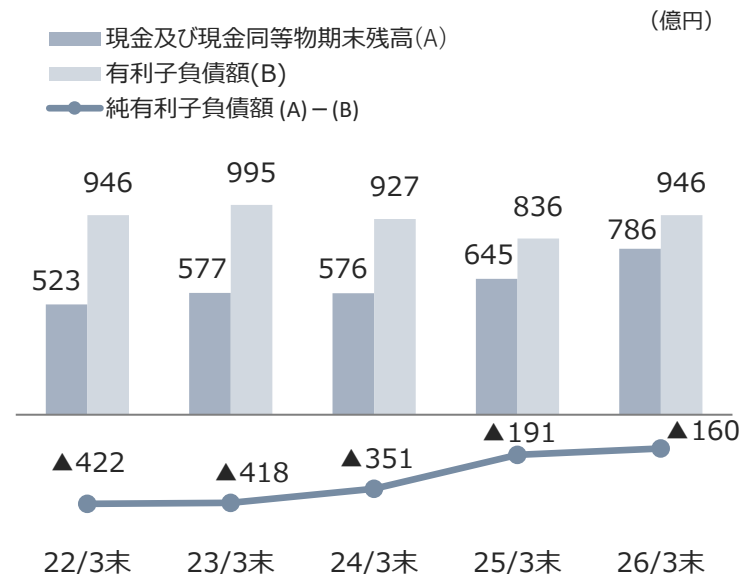
親会社株主に帰属する 当期純利益



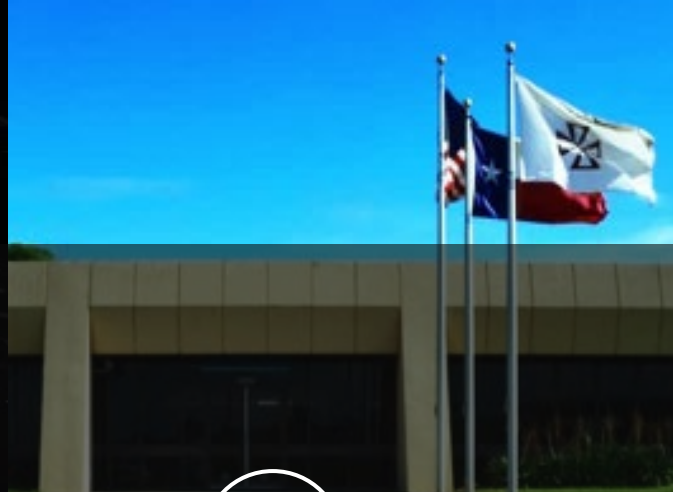
純資産・自己資本比率



現預金・有利子負債額



※26/3末は、現預金に信託銀行保管分（IRB）・譲渡性預金（有価証券）を含む



② 共英製鋼の強み

事業における
強み

世界3極体制の
鉄鋼事業

環境リサイクル
事業

グループ総合力による
シナジーの発揮

強みを
支える力

〈人財〉
次世代人材の着実な育成

〈ブランド〉
事業の独自性を活かした
ブランディング

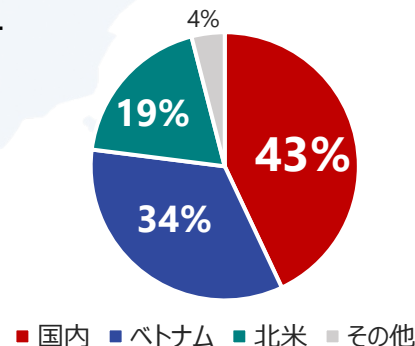
「世界3極体制」とは：

環境の異なるマーケットで事業を展開することにより
グループ全体で**安定的な利益計上・持続的な成長**を目指す
当社独自の戦略



“Spirit of Challenge” の社是の下、**60年以上**にわたり
培った **海外事業の知見**

当社グループ
売上高構成比



1963 台湾での合併事業



技術指導



1996 VKS社開所式



2016 3度目の米国進出

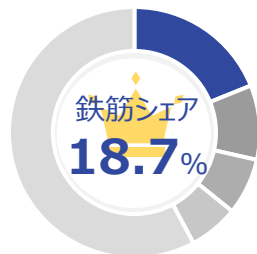


2026 VIS社新工場竣工式 16

世界3極体制の鉄鋼事業：国内鉄鋼事業

主要需要地に 拠点を保有

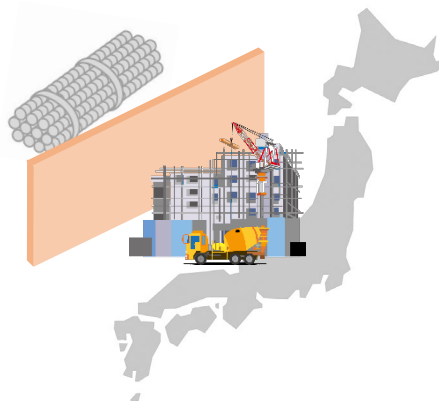
- ・鉄筋の国内シェアNo.1*
- ・情報の横展開で比較優位
- ・災害時の代替生産可



* 国内小形棒鋼シェア（生産量）
出典：日本鉄鋼連盟資料（2024年度）

地産地消の鉄筋事業

鉄筋は建設の基礎資材（汎用品）
⇒ ・地産地消で**基本的に輸出なし**
・建設現場で求められるきめ細かな
デリバリー
＝**実質的な輸入障壁**



付加価値製品の 製造・販売

省人化や、工期の短縮、CO₂
排出量削減に寄与



ネジ節鉄筋、高強度鉄筋



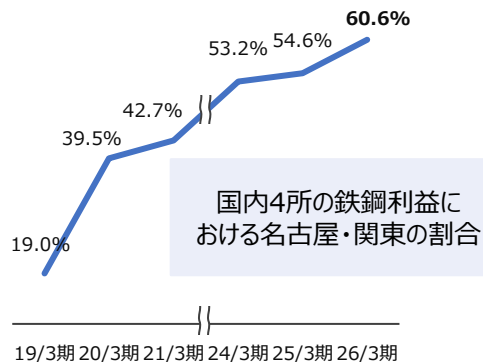
開発センター（名古屋事業所内）

世界3極体制の鉄鋼事業：国内鉄鋼事業

3つの戦略で国内鉄筋トップシェアの維持・拡大を目指す

エリア戦略 ～関東エリアでの プレゼンス向上～

- ・ 4事業所の連携強化により
堅調な需要環境にある
関東圏での出荷量増を図る
- ・ 高強度鉄筋、ネジ節鉄の拡販



機能戦略 ～川上/川下戦略～

- ・ スクラップ調達能力の強化
(東洋商事のスクラップ事業を譲受、
当社グループに)
- ・ グループ会社との連携による
加工事業の強化



東洋商事（愛知県東海市）

ブランド戦略 ～エシカルスチール～

- ・ 認知度向上を目指し、CM放映や施主
向け説明会などを実施
- ・ 2026年7月までに約1.5万トンを受注



CMのカット ©円谷プロ

世界3極体制の鉄鋼事業：海外鉄鋼事業（ベトナム）

- ベトナム戦争後の国土復興に貢献すべく、1994年に進出
- 人口増加などによる経済発展に伴う建築需要の拡大に期待

ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）



キョウエイ・スチール・
ベトナム社（KSVC社）

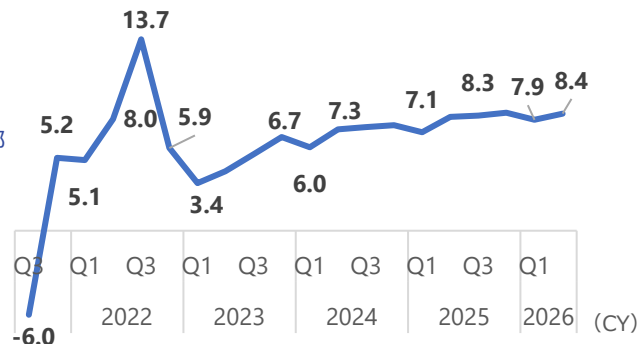
ビナ・キョウエイ・
スチール社
（VKS社）

南部
商都ホーチミン近郊

経済成長政策

トラム書記長の下、経済成長を重視した政策が実行されており、GDP成長率も8%を超える水準で推移

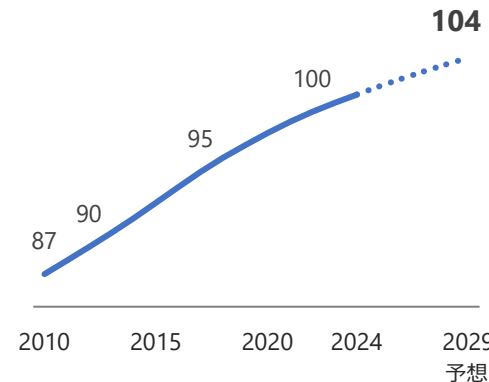
ベトナムのGDP成長率



若い成長市場

平均年齢33歳の若い市場

ベトナムの人口推移（百万人）

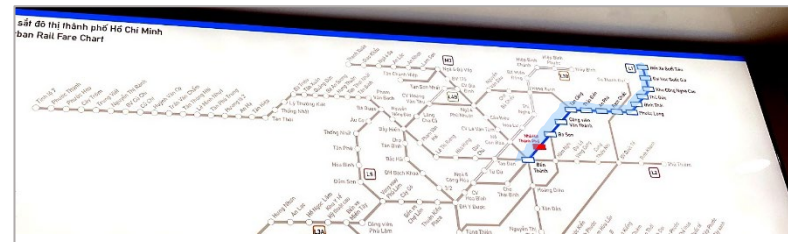
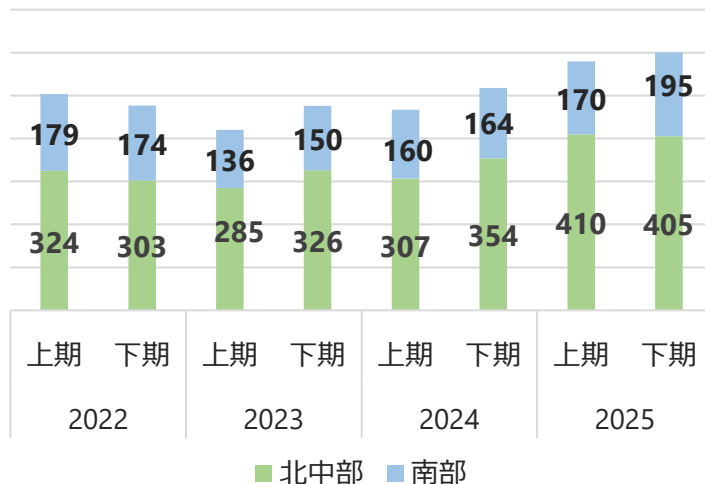


出典:CEIC Data

■ 旺盛な建設需要

- 高速道路や空港、地下鉄などの政府主導のインフラ投資や、民間の大型プロジェクトを中心に、建設需要は堅調
- 北部はインフラなどが開発途上であり、特に需要が旺盛

ベトナムの条鋼販売量推移



ホーチミンの地下鉄路線図
開通しているのはブルーの部分のみ（今年7月）



北部の戸建て住宅群



ハノイ市内の大規模開発

■ 南部拠点

- ビナ・キョウエイ・スチール社は、30年以上の歴史を持ち、「**日本品質**」という高いブランド力を武器に、南部のハウジング（戸建て住宅）市場において高い信頼を獲得
- ホーチミン都市鉄道（地下鉄）などのインフラにも多数採用

⇒ 長年培った信頼を強みに、**南部市場でのシェア拡大**を目指す



ホーチミン地下鉄の高架に入っている鉄筋は100%ビナ・キョウエイ・スチール社製

■ 北部拠点

- コスト構造が異なる高炉・IFメーカーに対抗すべく、2025年6月、ベトナム・イタリー・スチール社に**新圧延工場**を建設、順調に立上げ中
- もう1つの拠点キョウエイ・スチール・ベトナム社と連携し、OEMを活用して出荷量を伸ばす

⇒ 好調なベトナムの中でも、特に旺盛な北部の需要を確実に捕捉し、**製品出荷量増・コスト競争力向上**へ



ベトナム・イタリー・スチール社の新圧延ライン



(2025年)

* VSA（ベトナム鉄鋼協会）加盟社のうち

世界3極体制の鉄鋼事業：海外鉄鋼事業（北米）

- 1973年の米国進出は、国内メーカーでは2番目の早さ（その後2度にわたり撤退）
- 2016年に米国拠点、2020年にカナダ拠点を買収

地産地消の強み

米 国：保護主義政策の下
事業環境は良好

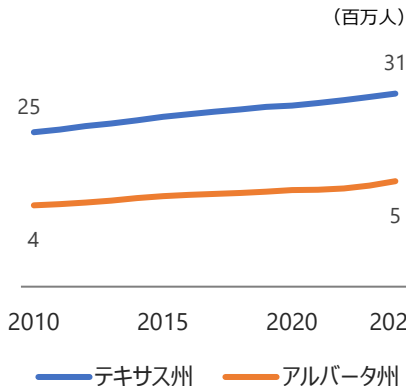
カナダ：国内需要堅調、競合も
比較的少なく安定した
事業環境



成熟市場での事業拡大

両国とも移住者による人口増で
インフラ需要拡大

米テキサス州・加アルバータ州の人口推移



出典：World Population Review, Statistics Canada

原料調達の優位性

- ・ 両拠点ともスクラップ加工会社を
保有

- ・ 低コストかつ安定的に調達
米 国：近隣に電炉他社なく
廃車屑を中心に集荷

- カナダ：近辺に油田があり、
スクラップの発生地に
近い立地

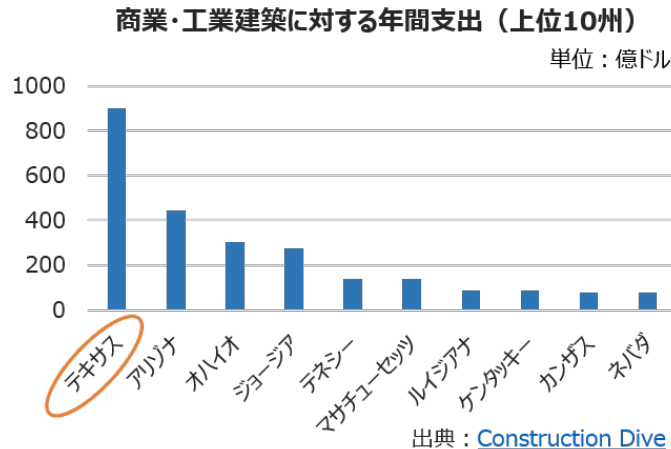


世界3極体制の鉄鋼事業：米国の設備投資計画

課題である老朽化へ対応し、生産性向上・生産能力増強によって旺盛な需要を捕捉

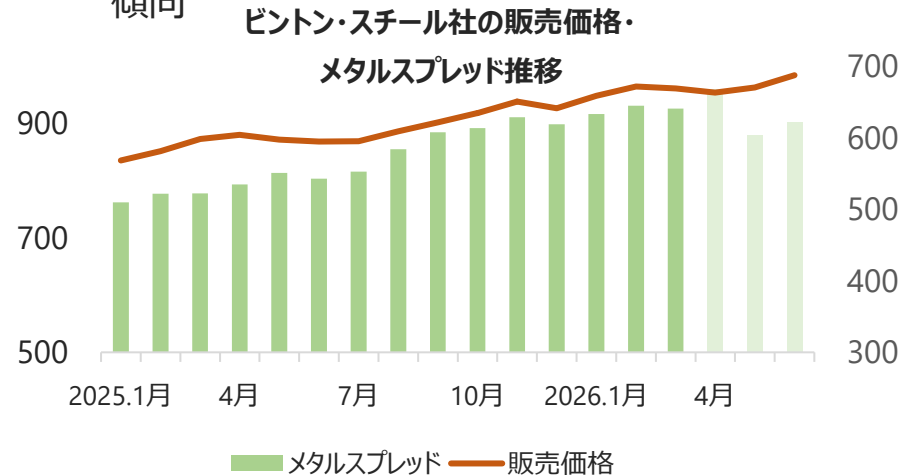
■ テキサス州の建設需要

- テキサス州の商業建設支出は 2025年時点で年間約900億ドル規模と**全米で最大水準**
- 積極的な企業誘致策により、**データセンター、半導体・先端製造業**の大規模投資、それに伴う**エネルギー関連施設**などの建設案件が集中



■ 市況も上昇基調

- 内需が旺盛な中、トランプ政権による関税措置により、安価な輸入材が締め出され市況は上昇基調
- 販売価格の上昇により、利益のもととなるメタルスプレッド（販売価格－鉄スクラップ価格）も拡大傾向



世界3極体制の鉄鋼事業：米国の設備投資計画

■ 設備投資の概要

- 設備投資 (1) 製鋼工場新設
(2) 既存圧延設備大幅改造
- 生産能力：製鋼設備 36万ネットトン/年
圧延設備 36万ネットトン/年
※ネットトン：約0.907 メトリックトン
- 投資総額：437百万米ドル
- 生産品目：鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼

■ スケジュール

2027年	7月	製鋼工場稼働開始
	10月	圧延設備の完成および 一貫商業生産開始
2028年		商業生産本格化



ビントン・スチール社でテキサス州の
公的助成決定を発表する
アボット テキサス州知事 (2025.2)



鋤入れ式
在ヒューストン日本国総領事館
総領事やテキサス州経済開発・観光局
幹部も出席 (2025.8)



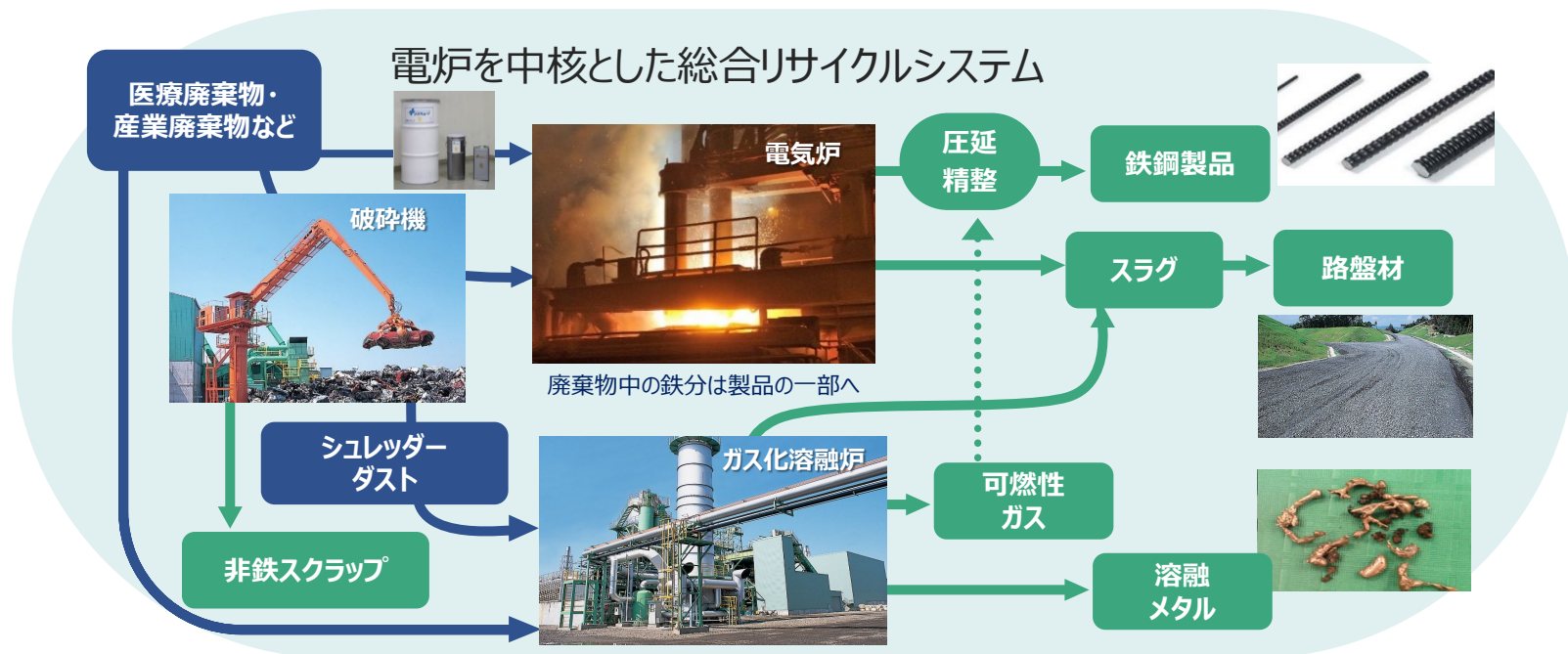
設備メーカーとの覚書 (MOU)
締結により世界初となる技術の
実現に向け推進 (2026.7)



建設工事の様子 (2026.7)

環境リサイクル事業：37年前に独自開発

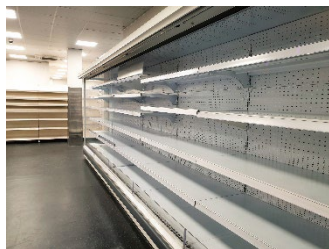
- 電気炉の熱を利用した安心・安全な産業廃棄物溶融処理のパイオニア
- 1988年に注射針の不法投棄問題を契機に、当処理方法を独自に開発
- ガス化溶融炉により、シュレッダーダストなど多様な廃棄物も処理



コンビニ大手の 廃棄物

コンビニ大手の改装・閉店に伴い
廃棄される什器・看板や解体くず
を一手に引き受け

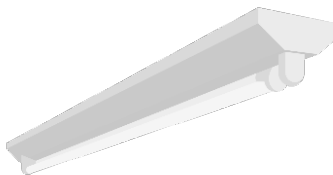
鉄筋などの鋼材として再生され、
新店舗の基礎部分に使用



水銀の含まれる 蛍光灯

電気炉で溶融処理し、鉄分以外
はスラグとして再資源化、路盤材
や造成材として再利用

※蛍光灯は、「水銀に関する水俣条約」で、
2027年末に製造、輸出入が禁止される



有害物質が付着した 金属廃棄物

2025.8.27公表

鹿島建設とともに鉛やアスベストなど、
有害物質が含まれる塗料が付着し
た金属廃棄物（歩道橋など）を
電気炉で安全に処理し、鋼材に再
生するスキームを構築



環境リサイクル事業：社会の難題に応えつづけた歴史

共英製鋼グループでの 処理開始年

医療廃棄物

不法投棄といった不適正処理が社会問題化。近年減少傾向にあるが、いまだ撲滅には至っていない。

1988



フロン類

エアコンや冷蔵庫など様々な用途で使用されていたが、オゾン層破壊や地球温暖化を引き起こすため、排出抑制の対象となる。

1999



2003

アスベスト

建材として広く使用されていたが、飛散した繊維を吸い込むことで健康被害を引き起こす



2024

エシカルスチール

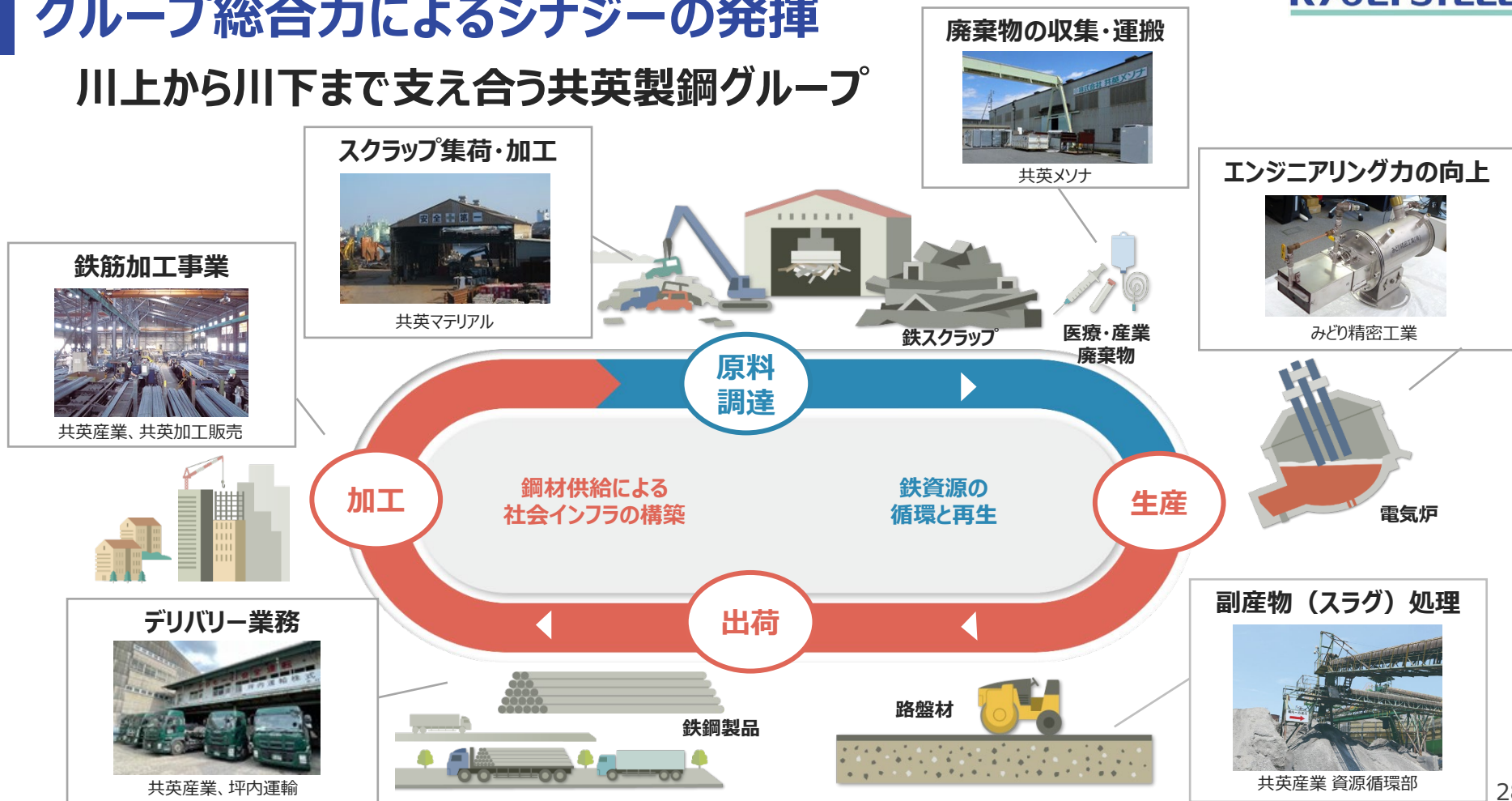
“35年目の新製品”として
ブランディング活動開始



エシカル
スチール

グループ総合力によるシナジーの発揮

川上から川下まで支え合う共英製鋼グループ



企業を支え、成長を担うのは「人」～ 様々な成長の機会を提供

若い世代の海外挑戦を支える 人的資本経営

- 海外挑戦の場の積極提供（海外派遣）
→ 若手社員の視野拡大と自律的成長を促し、
将来のグローバルリーダーを育成

- 海外トレーニー制度
→ 海外拠点における
一定期間の研修



海外トレーニー（中央）と日本人駐在員、現地社員

- K-ma（共英マーケティングアカデミー）
→ 営業・購買部門社員に事業所間の
情報交換や海外視察の機会を提供

人材交流プログラム「おむすび」

- グループ内人材交流を更に活性化させ、
“グループ内をつなぐ力”の強化を図る取り組み

「特定課題の解決」や
「知識・スキルの習得等」を
目的に派遣



拠点A

双方に気づきや
刺激を与え、
グループ内を
つなぐ“使節”

拠点B

交流を通じて得た学びを
自拠点に持ち帰る

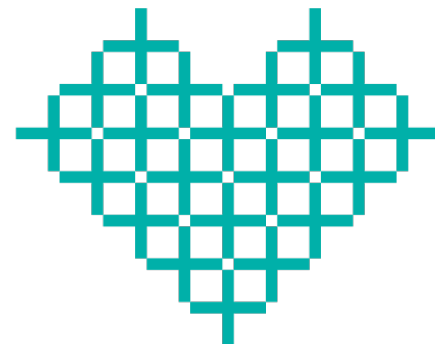


「おむすび」での研修の様子

エシカルスチールとは

医療廃棄物・産業廃棄物などを処理しながら製造し、
生産から出荷までトレーサビリティを確保した製品
(一部の鋼種やサイズを除くすべての品種が対象)

- 鉄鋼事業とリサイクル事業の併営という
当社事業の独自性を体現
- 「社会から出る“負の遺産”を、社会を支える
“プラスの力”に変えていく」という思いを
込めた製品



エシカル
スチール

鉄鋼事業 × 環境リサイクル事業 = エシカルスチール

・「ウルトラマン」をイメージキャラクターとして起用

エシカルスチールの認知拡大と理解促進を図るため、
キャラクターの起用した活動を開始

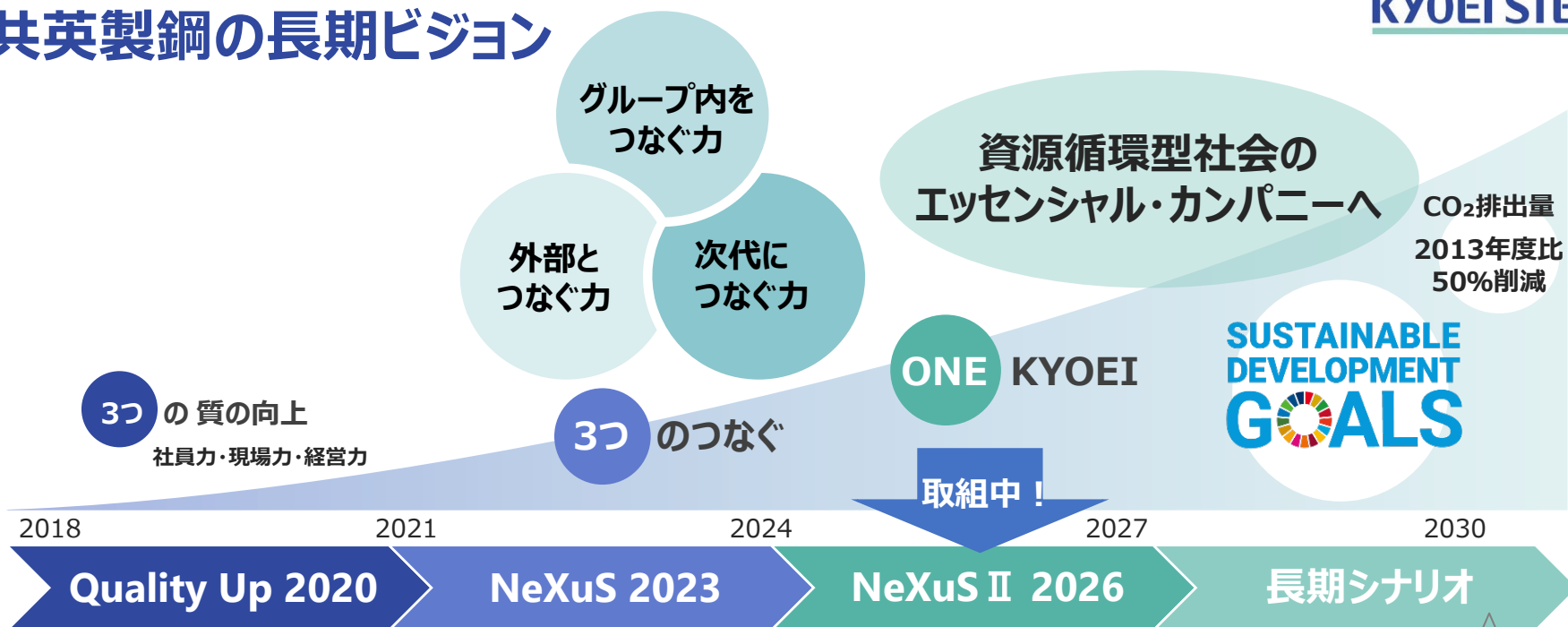
・起用の背景

「ウルトラマン」のように、この星の平和のためにたたかうヒーローがいる。
でも、そうじゃない私たちにだって、
地球のためにできることはある——。
誰もが知るヒーロー、「ウルトラマン」とともに、
私たちもまた、地道に地球の未来を守り続けてきた
もうひとりの“ヒーロー”です。



③ 中期経営計画「NeXuSⅡ 2026」

共英製鋼の長期ビジョン



セグメント別の方向性（長期シナリオ）

国内鉄鋼事業

国内4事業所を維持、
「鉄筋シェアNo.1」を
堅持し勝ち残る

海外鉄鋼事業

グローバルニッチ戦略のもと、
現地の旺盛な需要を取り
込み、成長拡大を目指す

環境リサイクル事業

社会の環境意識とニーズの
高まりに応え、より質の高い
資源循環型ビジネスを展開

鉄鋼周辺事業

事業のウイングを広げるべく
多角化にチャレンジし、
第4の事業に成長させる

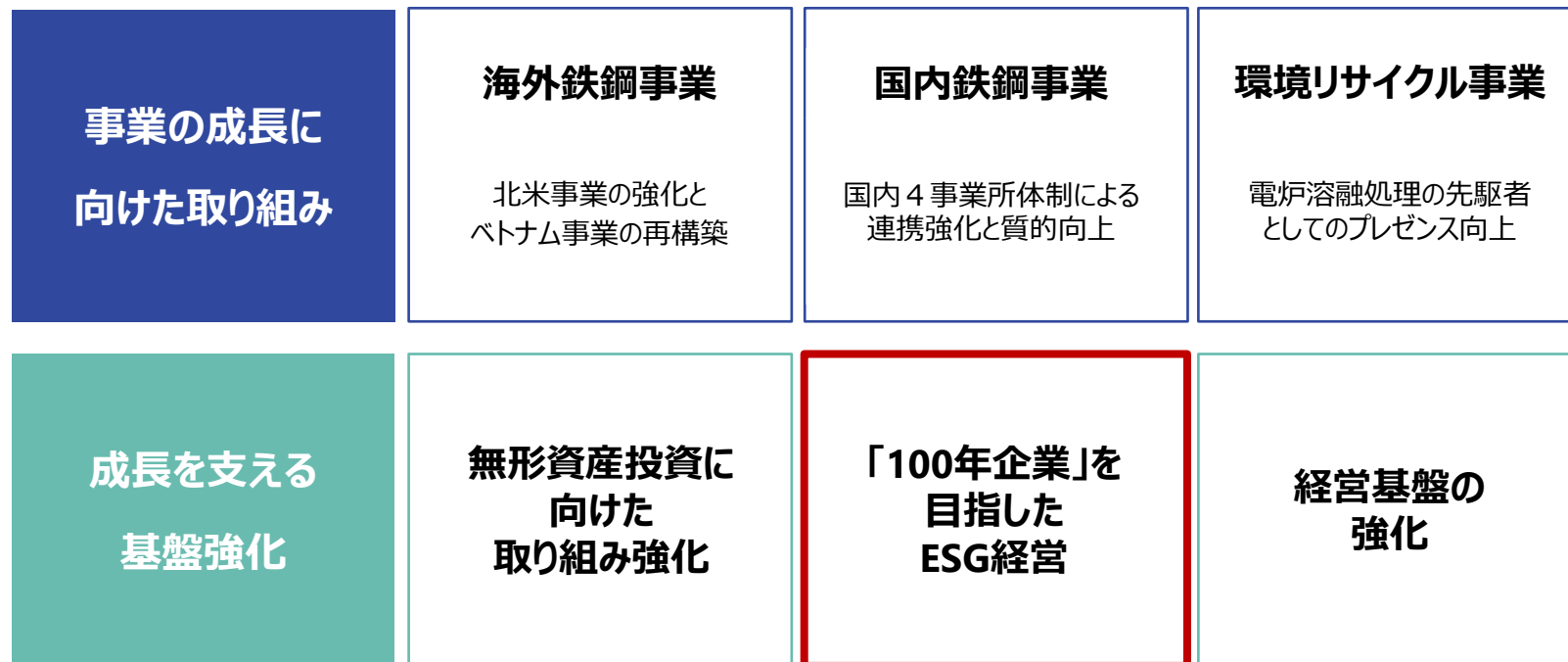
中期経営計画の進捗

	NeXuS 2023		NeXuSII 2026		2027年3月期 中計策定時目標
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	実績	実績	実績	予想 (7/31修正)	
売上高	3,210億円	3,228億円	3,151億円	3,620億円	3,800億円
経常利益	210億円	157億円	162億円	140億円	250億円
当期純利益	138億円	108億円	99億円	84億円	175億円
出荷量	307万ト	313万ト	328万ト	360万ト	400万ト体制
（国内）	158万ト	145万ト	138万ト	140万ト	160万ト
（海外）	149万ト	168万ト	190万ト	220万ト	240万ト
ROE	7.4%	5.4%	4.8%	4.2%	8%以上
自己資本比率	54.9%	57.5%	56.7%	55.9%	50%以上
ネットDEレシオ*	0.18倍	0.10倍	0.08倍	0.30倍	0.5倍以下
配当性向	28.3%	36.2%	39.7%	36.2%	30~35%
設備投資・事業投資	115億円	171億円	162億円	526億円	1,100億円／3年
		859億円／3年			

*現預金に信託銀行保管分（IRB）、譲渡性預金を含む
負債にリース債務を含む

中期経営計画 NeXuSⅡ 2026 重点方針

前中計の振り返りと、外部・内部環境分析等を踏まえ、東証の求める
「資本コストと株価を意識した経営」にも鑑み、次の6つを重点方針とする



CO₂排出量削減

・カーボンニュートラル宣言

2030年度に2013年度対比で50%削減、
2050年のカーボンニュートラルを目指す
(国内製造拠点)

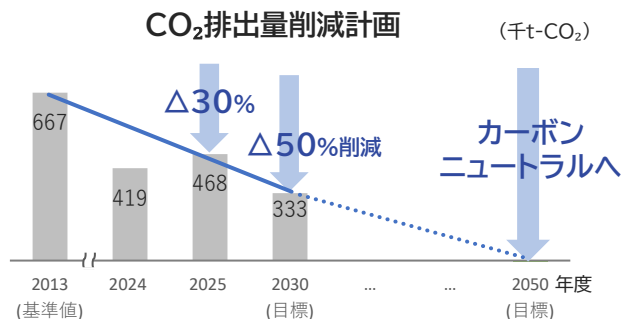


・2025年度のCDP調査

「気候変動」「水セキュリティ」分野で「A-」評価を取得

・省エネに向けた様々な取り組み

LNGへの燃料転換や太陽光パネル設置など



山口事業所の
太陽光発電設備



キョウエイREストーン

ゼロエミッションの実現

・電気炉スラグの有効活用

当社の電気炉スラグを原料とした「キョウエイREストーン」
による藻場形成・魚類の蛸集技術を環境省が実証

・マテリアルリサイクルの研究

早稲田大学・東京大学と提携し
リチウムイオン電池のリサイクル方法を共同研究



S（社会）に関する取り組み ①

企業価値創造の重要な源泉である「人材」の育成と能力を活かせる職場づくり

安全性・生産性の向上

- ・ 危険作業のロボット化
- ・ 熱中症対策として、ヘルメットに装着する脈拍・体温等の測定機器を導入
- ・ グループ全体で自主管理活動の充実



2025年度JK（自主管理活動）大会

人材の育成

- ・ 多様な人材の採用
- ・ 定年延長・賃金水準引き上げ
- ・ 教育・研修制度の充実



女性総合職を対象としたキャリア研修

厚生設備の充実

- ・ 厚生棟・事務所棟の改修



関東事業所の厚生施設

健康経営

- ・ 健康経営推進体制の構築
- ・ ストレスチェックや健康イベントなどの実施
- ・ 生産現場の環境整備



5年連続で認定

連結当期純利益の0.5%程度を社会貢献活動支出に充当

社会貢献活動

メスキュード医療安全基金やふるさと納税などの寄付を実施



メスキュード医療安全基金 贈呈式

山口事業所が以前より産業廃棄物処理を受託している山陽小野田市立山口東京理科大学に「エシカルスチール」製の自転車ラックを寄贈



「エシカルスチール」製自転車ラック

大学との共同研究

筑波大学芸術学系との共同研究を通じたモニュメント「エシカル・リンク」を設置



モニュメント「エシカル・リンク」（関東事業所）

障がい者雇用

小型家電の解体・分別を行う「リサイクル工房 にじいろ」(2020年～)、珈琲ドリップバッグの製造作業を行う「珈琲香房にじいろ」(2025年～)を運営



「にじいろ」の名には「多くの個性が集まってすてきな社会を」という意味が込められている



オリーブ植樹

2021年より山口事業所の遊休地にオリーブを植樹、現在約960本が育つ
2023年より実を収穫しオイルに加工



順調に育つオリーブ



2025年10月に開催したオリーブの実収穫祭

④ 資本コストと株価を意識した 経営の実現

資本コストと株価を意識した経営の実現

成長戦略の実現と期待値の向上によるROEとPERの上昇によりPBRを改善

現状

PBR 0.38倍
(26年8月7日時点)

ROE 4.8%
(26年3月期)

当社のPBRが低い理由

- ・海外事業改善の持続性への不透明感
- ・当社独自の強み（＝他社との差別化）の浸透不足

改善策

PBRの改善
(株価純資産倍率)

=

ROEの改善
(自己資本利益率)
⇒ 8%以上

×

PERの向上
(株価収益率)

成長戦略の実現

- ・中期経営計画の着実な実行
⇒海外における設備投資計画の実行

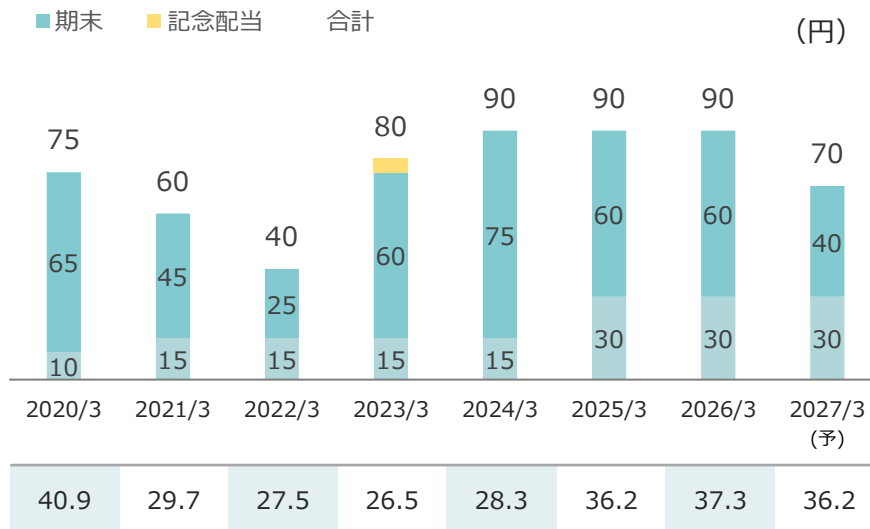
期待値の向上

- ・人的資本投資の充実
- ・ブランド戦略
- ・投資家との積極的な対話

株主還元

配当方針

- 企業価値向上に向けた内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続
- 配当性向(連結) 30～35%をめど、ただし1株当たり年間配当の下限は30円を目途として配当



ご優待内容

- オリジナルQUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上 1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

継続保有期間1年の認定は、毎年3月31日を基準日として、前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して100株以上の保有株式数が記載または記録されていることを条件とします。





NeXuS

▶ Next Success

次代の成功 = 100年企業を目指して

これまでの「鉄づくりを通じて社会に貢献する」企業から、

これからの「サーキュラー・エコノミー社会」の中で

資源循環型事業を通じ、社会の発展と地球環境との

調和に貢献する“エッセンシャル・カンパニー”を目指します

ご清聴ありがとうございました

免責事項

- 本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任・判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に掲載されている情報の掲載中止や変更を予告なく行うことがありますので、ご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。



JR大阪駅に広告掲出中！
(中央改札から大丸へ向かう地下通路)

※ 共英製鋼株式会社

- 1939 大阪市城東区にて共英鍛工所を設立
- 1947 共栄製鉄（翌年社名を「共英製鋼」に変更）を設立
- 1962 当社初の電炉工場を新設（大阪工場）
- 1964 台湾にて合併事業（初の海外進出）
- 1982 住友金属工業（現・日本製鉄）と資本提携
- 1988 環境リサイクル事業を開始
- 1994 ベトナムに進出



上場時の様子



高島秀次
初代社長



高島浩一
元会長



大阪工場（2016年閉鎖）

- 2006 東証一部・大証一部に上場
- 2011 ベトナム北部に2拠点目を設立
- 2016 米国の電炉工場を買収
- 2018 ベトナムにて港湾事業開始。ベトナム3拠点目を買収
- 2020 カナダに進出
- 2022 東証プライム市場移行
- 2024 関東スチール（連結子会社）を吸収合併、関東事業所に

参考：業績の推移

(百万円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	226,371	292,719	355,715	320,982	322,849	315,106
国内鉄鋼事業	111,138	128,957	153,581	159,722	142,602	125,527
海外鉄鋼事業	104,985	152,008	189,603	150,075	169,016	178,988
環境リサイクル事業	6,705	7,288	7,645	6,483	6,243	5,945
その他事業	3,543	4,465	4,886	4,702	4,989	4,646
営業利益	12,656	8,819	14,819	21,055	15,332	16,967
国内鉄鋼事業	13,012	2,622	14,717	24,062	17,365	11,258
海外鉄鋼事業	△428	5,233	△674	△2,827	△1,713	6,143
環境リサイクル事業	1,356	2,044	1,638	933	673	546
その他事業	△57	50	△72	80	448	425
消去	△1,227	△1,130	△791	△1,193	△1,441	△1,406
経常利益	12,935	10,549	14,671	21,034	15,745	16,211
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,788	6,322	13,108	13,826	10,791	9,864

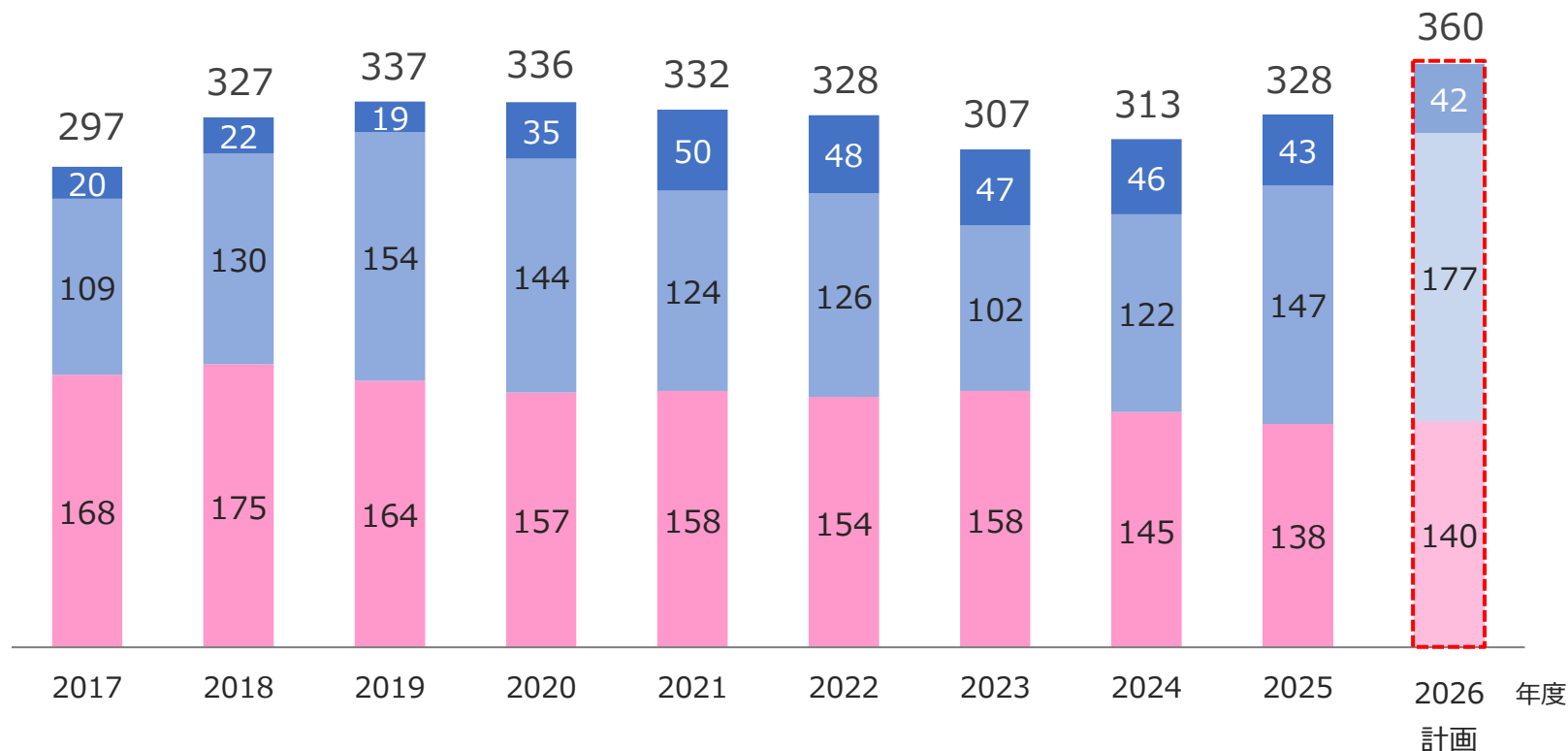
(円)

1株当たり当期純利益	202.22	145.48	301.61	318.13	248.30	226.98
1株当たり純資産	3,553.45	3,749.63	4,134.64	4,478.71	4,670.79	4,870.38
1株当たり配当金	60.0	40.0	80.0	90.0	90.0	90.0
配当性向 (%)	29.7	27.5	26.5	28.3	36.2	39.7

参考：製品出荷量の推移

(万トン)

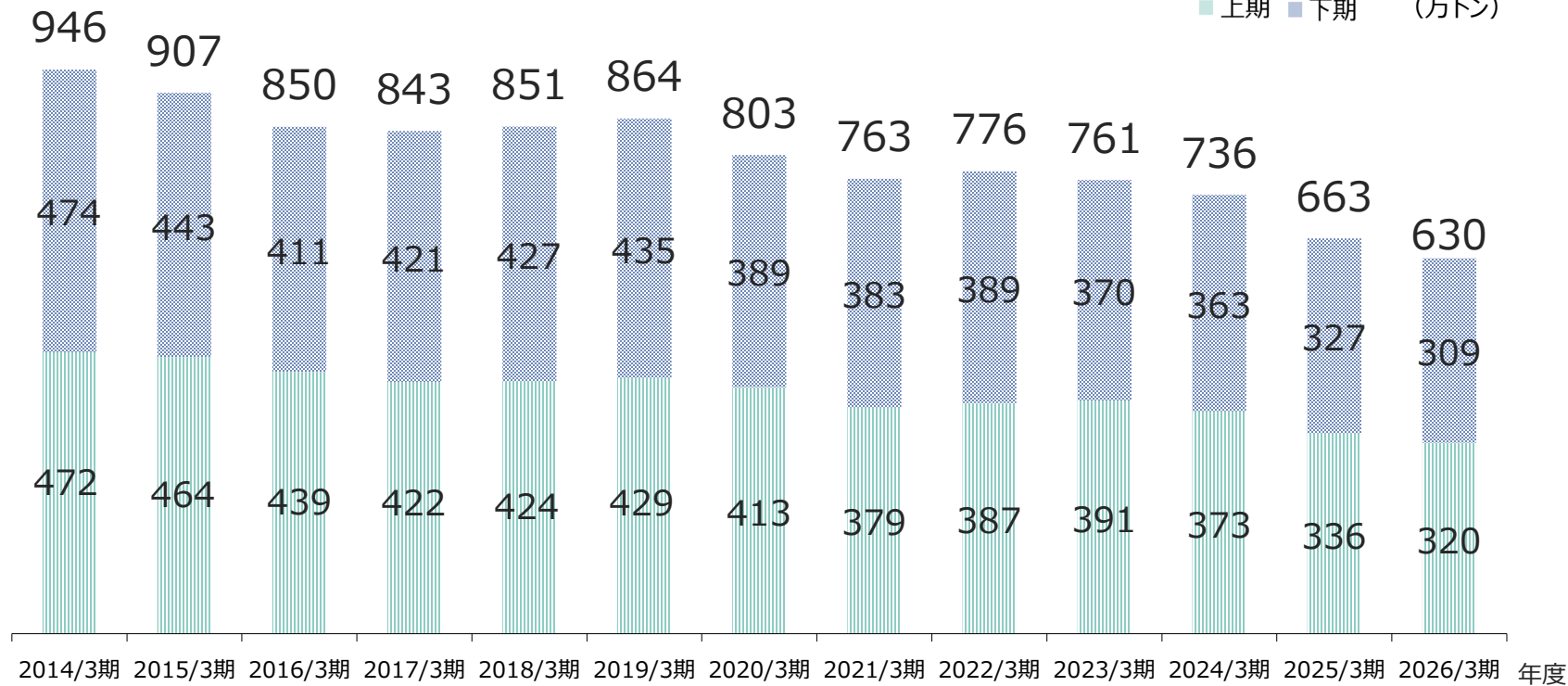
■ 国内 ■ ベトナム ■ 北米



参考：全国小形棒鋼生産量推移

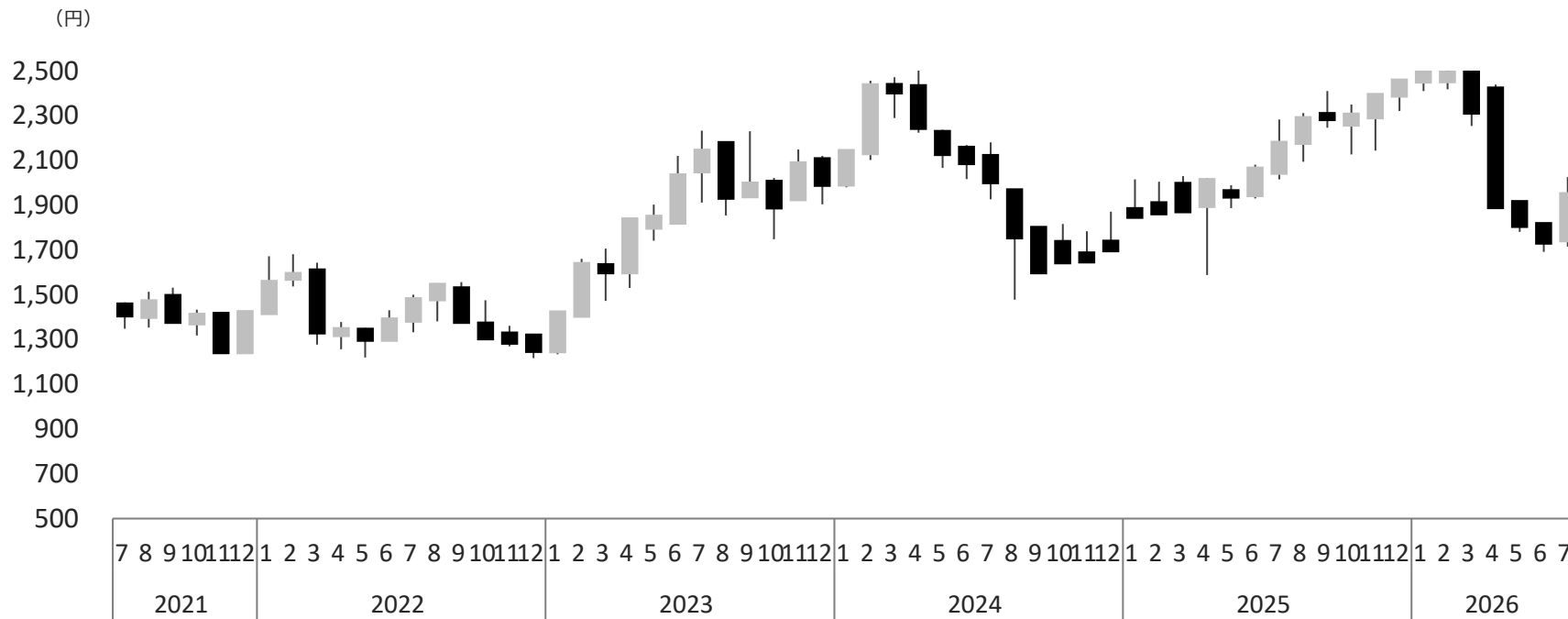
2025年度の全国小形棒鋼生産量は630万トン、前年同期対比▲5.0%

■ 上期 ■ 下期 (万トン)



(出典) 日本鉄鋼連盟資料

参考：株価の推移



株価 (8/7終値)	単元株	2027年3月期 1株あたり年間配当予想	配当利回り	PBR
1,888円	100株	70円	3.7%	0.38倍

2026年度に目指す財務KPI

経常利益

250億円

出荷量

400万トン体制

国内160万トン・海外240万トン

ROE

8%以上

自己資本比率

50%以上

ネットDEレシオ

0.5倍以下

配当性向

30～35%

参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英加工販売(株)

鉄筋加工



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ

環境リサイクル事業



関東事業所

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ節鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英マテリアル(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 坪内運輸(株)
- ・ (株)東洋商事
- ・ 中山鋼業（持分法適用）

参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



- 1 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS）**
 ベトナム ホーチミン市
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）
 生産能力：製鋼70万トン/年、圧延90万トン/年

- 2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC）**
 ベトナム ニンビン省
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）
 生産能力：圧延30万トン/年

- 3 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS）**
 ベトナム フンエン省
 事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）
 生産能力：製鋼45万トン/年、
 圧延80万トン/年

- 4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP）**
 ベトナム ホーチミン市
 事業内容：港湾事業

- 5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE）**
 ベトナム ハイフォン市
 事業内容：鋳鉄製品製品の製造・販売
 生産能力：9,000トン/年



参考：当社グループの海外拠点（北米）



アルタ・スチール
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール
(テキサス州)

2



1 アルタ・スチール社

カナダ アルバータ州

事業内容 : 鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力 : 製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年 : 2020年（創業は1955年）

2 ビントン・スチール社

米国 テキサス州

事業内容 : 鋼材の製造・販売
生産能力 : 製鋼25万トン/年
圧延25万トン/年

設立年 : 1962年（2016年に当社買収）

製品紹介（北米）



鉍石粉碎用丸鋼



細物鉄筋

